



四月一日、35周年記念館アリーナにて二〇二四年度入学式を挙行し、学部生、大学院生あわせて、二〇八二名が新たなスタートを切った。

【学科】

ドイツ語学科	121名
英語学科	298名
フランス語学科	113名
交流文化学科	115名
言語文化学科	174名
経済学科	347名
経営学科	333名
国際環境経済学科	137名
法律学科	223名
国際関係法学科	97名
総合政策学科	116名
合計	2074名

【大学院】

法学研究科	2名
外国語研究科	5名
経済学研究科	1名
合計	8名



前沢浩子学長

式典で、前沢浩子学長は「獨協大学は、初代学長長天野貞祐先生の『大学は学問を通じての人間形成の場である』を建学の理念として一九六四年にこの草加の地に開学してから本年度で創立六十周年を迎えました。この建学の理念は『学問』とは何か『人間形成』とは何かを私たちに問いかけているものです。『学問』とは何かを考えた思想家の一人にイギリスの哲学者フランシス・ベーコンがいます。ベーコンは『わかつたつもり』になるのではなく、『一人の経験を通して知識を積み重ねていく』ことが大切だと主張しました。群衆の中で多勢の意見に流されるのではなく、孤独を恐れず一人で考える力を持ってください。しかし一人で考える時でも、他者の視点を持ち続けてください。また『人間形成』とはどのような意味かを、これからの四年間をかけて考えてください」と式辞を述べた。続いて、猪口雄二獨協学園理事長は「大学生活は高校までのような与えられる学びではありません。自ら掴み取りに行く姿勢が、皆さんの将来を明るくものにしてください。これからは、自らの周囲だけでなく、世界を見据えた学びを獲得してください。学問的に、人間的に豊かな学生生活を送られることを心より願っています」と激励の言葉を贈った。また、ドイツ連邦共和国大使館ゼンケグロトフ・ゼン二等書記官文化課長より、「獨協大学は創立以来、日本のどの教育機関よりもドイツと格別の絆で結ばれている大学です。獨協大学による日独をつなぐ伝統が、ドイツやドイツ文化に対する皆さんの興味を呼び起こすことに貢献することを願っています」とお祝いのメッセージを述べた。

入学式終了後、新入生たちは学生証の交付を受け、その後キャンパス内の各所で記念撮影する姿が見られた。

新任教員紹介

(五十音順)

氏名(ふりがな)  
学部学科・役職

- ①最終出身校
- ②主な担当科目
- ③ひとこと

**大場 樹精**  
(おおば・こだま)  
国際教養学部言語文化学科  
専任講師

- ①上智大学大学院
- ②スペイン語、ラテンアメリカの歴史と文化等
- ③皆さんと一緒にラテンアメリカ理解を深めながら、たくさんの「当たり前」を考え直していきたいと思えます。

**榊原 嘉明**  
(さかきばら・よしあき)  
法学部法律学科  
教授

- ①明治大学大学院
- ②労働法、法律学特講(労使関係法)等
- ③あなたは、この世界の「主人公」の1人です!隣人と共に自分らしく輝ける、そのための学びをともに獨協で!

**高田 久実**  
(たかだ・くみ)  
法学部法律学科  
准教授

- ①慶應義塾大学大学院
- ②日本法制史、日本近代法史等
- ③過去を覗くと、今の成り立ちが見えてきます。法という媒介で複数の世界を繋げる面白さを味わいましょう。

**古川 光明**  
(ふるかわ・みつあき)  
経済学部国際環境経済学科  
教授

- ①一橋大学大学院
- ②国際公共政策論、国際開発論等
- ③国際社会を取り巻く環境は大きく変化しています。持続的発展のあり方について一緒に考えていきましょう。

**光野 百代**  
(みつのももよ)  
国際教養学部言語文化学科  
准教授

- ①メルボルン大学大学院
- ②多文化社会のローカルコミュニティ、英語圏事情、Integrated English等
- ③英語も多文化共生も最近よく目にし、耳にする言葉ですが、皆さんの学びをとおして謙虚に世界を知ることができればと思います。

**N.柳田**  
(N.ヤナギタ)  
外国語学部ドイツ語学科  
専任講師

- ①マルティン・ルター大学ハレ・ヴィッテンベルク、慶應義塾大学大学院
- ②実践ドイツ語I・II、上級ドイツ語スピーキングa,b、中級ドイツ語リスニング(CAL)a,b、インターンシップ特別演習
- ③学習動機や学習方法について研究しており、学生の助けになりたいので、勉強に困ったら話しかけてください。

**喜島 千晴**  
(きじま・ちはる)  
国際教養学部言語文化学科  
専任講師

- ①北京大学
- ②中国語I・II、中国語上級、中国語演習、日中交流史、中国言語文化論等
- ③中国っておもしろい!中国語って楽しい!そう思える学びに、皆さんと一緒に取り組んでいきたいです。

**佐々木 優香**  
(ささき・ゆうか)  
外国語学部ドイツ語学科  
専任講師

- ①筑波大学大学院
- ②ドイツ語圏の歴史・現代社会G,H、総合ドイツ語III、IV等
- ③専門は日独の移民研究です。ドイツ語圏に関する専門的な学びが日本を捉え直すきっかけとなれば幸いです。

**中窪 裕也**  
(なかくぼ・ひろや)  
法学部国際関係法学科  
特任教授

- ①ハーバード・ロースクール(LL.M.課程)
- ②英米法、法律学特講、外国法講読等
- ③アメリカの労働法を中心に研究しています。良くも悪くもユニークで刺激的な国、一緒に学んでいきましょう。

**古畑 侑亮**  
(ふるはた・ゆうすけ)  
国際教養学部言語文化学科  
特任講師

- ①一橋大学大学院
- ②日本研究概論II、日本前近代史I・II、日本近現代史I・II等
- ③転換する時代を如何に生きるべきなのか、遺された古文書や書籍を紐解きながらともに考えて参りましょう。

**村井 哲也**  
(むらい・てつや)  
法学部総合政策学科  
教授

- ①東京都立大学大学院
- ②日本政治外交史、政治過程論、日本政治史
- ③歴史的な観点から日本政治を研究しています。明るく楽しく講義するので少しでも関心があれば気軽に履修してください!

**石井 研司**  
(いしい・けんじ)  
法学部総合政策学科  
特任助教

- ①九州大学大学院
- ②Speaking in Academic Contexts, Academic Listening Strategies等
- ③有限な時間は皆さんの努力と意志でより有意義で有意義なものとなります。変化を恐れず学びましょう。

**齋藤 由佳**  
(さいとう・ゆか)  
外国語学部フランス語学科  
専任講師

- ①アンジェ大学大学院
- ②フランス現代社会各論、フランス現代社会講読
- ③フランスの食文化史が専門です。「食べる」という営みを通して社会や言語について学んでいきましょう。

**杉浦 林太郎**  
(すぎうら・りんたろう)  
法学部法律学科  
教授

- ①明治大学大学院
- ②民法入門、民法I・II、外国法講読等
- ③日常生活やライフサイクルに関係する法である民法を通じて、社会や世界へと踏み出していきましょう。

**服部 麻理子**  
(はっとり・まりこ)  
法学部総合政策学科  
教授

- ①一橋大学大学院
- ②行政法、地方自治法、法律学特講(行政過程論)等
- ③法制度と人情の関係性に興味をもっています。論理と感情のバランスを、一緒に検討しましょう。

**松本 健太郎**  
(まつもと・けんたろう)  
外国語学部英語学科  
教授

- ①京都大学大学院
- ②コミュニケーション論特殊講義、コミュニケーション論文セミナー等
- ③理論と実践を往還しながら、現代文化を考えるための新しい視座を、ぜひ一緒に開拓していきましょう。

**村山 昌平**  
(むらやま・しょうへい)  
経済学部国際環境経済学科  
特任教授

- ①東北大学大学院
- ②環境学、特殊講義(地球温暖化と温室効果ガス)、特殊講義(森林の生態系)、特殊講義(環境データを用いたデータ解析入門)等
- ③地球環境の問題を身近なものとして、科学的な視点から皆さんと一緒に考えていきたいと思えます。

第五十七回卒業式・第四十六回学位記授与式を挙



三月二〇日、第五十七回卒業式・第四十六回学位記授与式を挙行し、一七四六名の卒業生、修了生が旅立ちの日を迎えた。

学位記取得者数は次のとおりです。( )内は総代氏名。

◆学 士

ドイツ語学科	119名	(齋藤 里奈)
英語学科	232名	(鹿島 優真)
フランス語学科	80名	(冨田 美月)
交流文化学科	86名	(浅田 きらり)
言語文化学科	146名	(一ノ瀬 葵)
経済学科	276名	(柳井 万穂)
経営学科	296名	(旗野 晃弥)
国際環境経済学科	140名	(山本 華子)
法律学科	225名	(佐々木 大智)
国際関係法学科	75名	(熊谷 有紗)
総合政策学科	69名	(石塚 有紗)
合計	1744名	

◆修 士

外国語学研究科	2名	(小川 佳祐)
---------	----	---------

式典終了後には、本学の35周年記念館内で五年ぶりに祝賀会が開催され、袴やスーツを着た卒業生が友人らと思い出を語りあう様子や、記念撮影をする姿が見られた。また、東門からのプロムナードには、クラブ・サークルの部員から寄せられた祝福と感謝の気持ちを添えたメッセージボードが設置され、学内は祝賀ムードに包まれた。

式典終了後には、本学の35周年記念館内で五年ぶりに祝賀会が開催され、袴やスーツを着た卒業生が友人らと思い出を語りあう様子や、記念撮影をする姿が見られた。また、東門からのプロムナードには、クラブ・サークルの部員から寄せられた祝福と感謝の気持ちを添えたメッセージボードが設置され、学内は祝賀ムードに包まれた。

続いて、猪口雄二獨協学園理事長は「学びも人生もいつも必ずうまく行くものではありません。その時に最も大切な事は、嘘や偽りのない真摯な態度です。その態度は皆さんの人生を必ず豊かなものにするでしょう。多くの先人たちが作り上げたこの学園を土台に、高く高く羽ばたいていってください」と述べ、卒業生を激励した。

卒業生を代表し、草薙凛々さん(外国語学部英語学科)が答辞を述べた。

式典終了後には、本学の35周年記念館内で五年ぶりに祝賀会が開催され、袴やスーツを着た卒業生が友人らと思い出を語りあう様子や、記念撮影をする姿が見られた。また、東門からのプロムナードには、クラブ・サークルの部員から寄せられた祝福と感謝の気持ちを添えたメッセージボードが設置され、学内は祝賀ムードに包まれた。

三月二〇日、第五十七回卒業式・第四十六回学位記授与式を挙行し、一七四六名の卒業生、修了生が旅立ちの日を迎えた。

山路朝彦学長(当時)は「大学は学問を通じての人間形成の場である」という本学の建学理念は、大学は学問を教授する場であると同時に、教える者と学ぶ者が一体となって「人間形成」という営みを成し遂げる場であるということです。皆さんは、獨協大学で学んだことに誇りと自信をもって、これから社会人としての新たな歩みを始めてください。身に付けた多くの力を精一杯発揮して、より良い、優しい社会を作り出していきましょう」と式辞を述べた。

